

京都を集団的自衛権行使の最前線にするな!

—京都平和委員会第56回定期総会開催—



開会挨拶する岡田会長

た。特に60年安保闘争と現在の情勢との類似にふれ、安倍内閣を退陣に追い込む運動の緊急性が強調されました。続いて片岡明事務局長より活動報告と運動方針案が提案

「戦争法案」ス
トップの全国的な
行動が巻き起こる
中、6月13日
(土)、京都平和委
員会第56回定期
総会がラポール京
都にて開催されま
した。
冒頭、岡田英樹
会長から挨拶があ
り、療養中の戸田
理事長の状況が紹
介され、早期の回
復復帰にふれた
後、安保法制めく
る情勢と京丹後レ
ーダー基地強化と
の関連、防衛省の
組織改変、予備自
衛官をめぐる動き
等が指摘されまし

ました。今後の取組みとして、
沖繩・憲法・核兵器廃絶の課
題と結びついた米軍レーダー
基地撤去の運動を「府民の会」
や「京都憲法 共同センター」
との連携や、青森・車力との
結びつきの強化も提示されま
した。また夏に開催されるグ
ローバルネットワーク(「兵器
と核エネルギーの宇宙配備を
許さない地球ネットワーク」)

た。片岡事務局長は
先月、日米合意された「防衛
協力の指針(新ガイドライン)」
が現行安保条約を大きく越え
たものであり、中でも「ミサ
イル防衛」が際立っており、
経ヶ岬のレーダー基地と舞鶴
のイージス艦、さらに京都府
内の自衛隊基地が実戦部隊の
みならず補給・兵站基地とし
ての役割が大きくなっており、
最近の経ヶ岬のレーダー基地
の異常な警備強化がそのこと
を示していることが指摘され
ました。

されました。片岡事務局長は
先月、日米合意された「防衛
協力の指針(新ガイドライン)」
が現行安保条約を大きく越え
たものであり、中でも「ミサ
イル防衛」が際立っており、
経ヶ岬のレーダー基地と舞鶴
のイージス艦、さらに京都府
内の自衛隊基地が実戦部隊の
みならず補給・兵站基地とし
ての役割が大きくなっており、
最近の経ヶ岬のレーダー基地
の異常な警備強化がそのこと
を示していることが指摘され
ました。今後の取組みとして、
沖繩・憲法・核兵器廃絶の課
題と結びついた米軍レーダー
基地撤去の運動を「府民の会」
や「京都憲法 共同センター」
との連携や、青森・車力との
結びつきの強化も提示されま
した。また夏に開催されるグ
ローバルネットワーク(「兵器
と核エネルギーの宇宙配備を
許さない地球ネットワーク」)



報告を行う片岡事務局長

「沖繩に連帯するつどい」や
「討論の概要」
討論では先日、ニューヨー
クで開催された「2015 N
PT再検討会議」に京都平和
委員会の代表として参加した
青年、阿比留君から行動の報
告と青年部の活動が紹介され、
ニューヨーク現地学生との交
流を通して大きな力を感じ、
それが核戦争の抑止力になる
こと、またこの1年の青年部
の活動の中で幅広い青年への
訴えかけが大切であること、
夏の原水爆禁止世界大会参加
にむけた行動計画が報告され
ました。

続いて地域・職場から発言
があり、米軍レーダー基地の
配備とともに急激な戦争準備
体制が進行している舞鶴の連
続宣伝活動、NPT再検討会
議に代表を派遣し、さまざま
な学習会を準備する福知山、
「沖繩に連帯するつどい」や

の第23回年次総会が京都で
おこなわれ、セミナーやバス
ツアーの取組みが紹介されま
した。
【討論の概要】
討論では先日、ニューヨー
クで開催された「2015 N
PT再検討会議」に京都平和
委員会の代表として参加した
青年、阿比留君から行動の報
告と青年部の活動が紹介され、
ニューヨーク現地学生との交
流を通して大きな力を感じ、
それが核戦争の抑止力になる
こと、またこの1年の青年部
の活動の中で幅広い青年への
訴えかけが大切であること、
夏の原水爆禁止世界大会参加
にむけた行動計画が報告され
ました。

連続宣伝行動等、オール山科
をめざす行動が始まっている
山科、さらにNPTに12名
の代表を派遣し、その成果を
宣伝行動にむすびつける新婦
人の取組み等が報告されまし
た。また小杉功京都原水協事
務局長からNPT再検討会議
の結果をどのように見るかに
ついて、「核兵器廃絶は国際社
会の中心議題にすわった」と
の発言や、安保破棄実行委員
会の田中三郎氏から京丹後市
で米軍の無法な行動を監視続
ける活動等が紹介されました。
討論を終え、閉会の挨拶に
立った橋本安彦副会長は、日
中戦争が「事変」という名で
ごまかされ、戦前の日米開戦
が始まるまでの国民意識とし
て「戦争とは知らなかった」
というのが多くの国民の実情
であったこと、それが今日「事
態」という名で同じことが繰
り返されようとしている、と
の挨拶により総会は締めくく
られました。



閉会あいさつを述べる橋本副会長

NY行動を報告する阿比留さん

閉会あいさつを述べる橋本副会長

閉会あいさつを述べる橋本副会長

平和の風

▼おそろしい時代にな
ってきた。六月二十五
日の自民党文化芸術懇
話会での数々の発言で

ある。国民大衆の感情を恣意的
にもてあそぶ売文家百田尚樹の
およそ作家とは言い難い事実わ
い曲の沖繩普天間基地について
の発言。自由と民主主義の名を
冠した政党の議員にあるまじき
マスコミへの「こらしめる」な
どの圧力発言。▼私の愛読して
いる琉球新報は六月二十八日付
の社説の冒頭で「日本は今、法
治国家でもなければ民主主義国
家でもない。それどころか近代
国家でもないのではないか。」
と断じた。まさに自分たちの意
に沿わない意見や思想を抹殺し
ようとする危険な独裁国家、フ
アシズムの支配への危険が迫っ
てきている。と感じざるを得な
い。▼自由と基本的人権を保障
している日本国憲法に基づく政
府への転換めざす勢力を急いで
広げに広げて全日本を覆うよう
にしなればなるまい。(ま)